令和６年度
（2024年度）

入 学 者 選 抜 要 項

東京工業大学は東京医科歯科大学と令和６（2024）年度の秋に統合し，東京科学大学（仮称）となる予定です。
なお，統合日以前に入学した学生は，統合日前日までは現大学の学生ですが，統合日に全学生が新大学の学生になります。

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

令和５年（2023年）７月

目　　次

はじめに

・入学希望者へのメッセージ〈誰も見たことのない未来をつくりだせ〉……1
・〈学士課程〉入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）……1
・各学院が求める人材像……2
・東工大教育ポリシー……3
・女子枠設置に託した思い……4

Ⅰ　募集人員

１　学院，学院を構成する系及び募集人員……5
２　選抜ごとの募集人員……5

Ⅱ　一般選抜（前期日程）

１　出願資格……6
２　出願に際しての注意事項……6
３　募集方法……7
４　実施期日……7
５　選抜方法……7

Ⅲ　総合型選抜

１　総合型選抜で求める学生像……9
２　出願資格……9
３　募集方法……10
４　実施期日……10
５　選抜方法……10

Ⅳ　学校推薦型選抜

１　学校推薦型選抜で求める学生像……15
２　出願資格……15
３　募集方法……15
４　実施期日……15
５　推薦要件等……15
６　選抜方法……16

Ⅴ　私費外国人留学生特別入試……18

Ⅵ　国費外国人留学生優先配置入試……19

Ⅶ　障害等のある入学志願者の事前相談 ……20

Ⅷ　その他

１　入試情報の提供について……21
２　学士課程２年目における系ごとの受入可能人数（参考）……21
３　令和７年度入学者選抜について……22

Ⅸ　募集要項・入学案内の請求方法……23

１　募集要項について……23
２　入学案内の請求について……23

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち，課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を，経済を，社会を，どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく，エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって，いまこの瞬間も，世界中の科学者や技術者，その他各分野の専門家たちが，その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに，あなたは仲間入りしようとしています。

1881年に創立されて以来，時代を切り拓くフロントランナーとして，理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは，科学技術の強い基盤を持ちながら，従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら，どんなに高度で専門的な知識でも，ただそれを持っているだけでは，わくわくするような発見や発明に出会うことも，困難な問題を解決に導くことも，決してできないからです。だからこそ，本学の門を叩こうとするあなたには，以下のような心構えを持ってのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を，本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代，ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ，ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来，何を為したいのか。社会に，どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち，それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は，志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し，すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では，新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ，幅広い分野に興味を広げ，専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って，世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ，「そんな考え方もあったのか！」と人々を驚かせるアイディアは生まれます。人と人，知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ，誰も見たことのない未来を，ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会えることを，期待しています。

〈学士課程〉入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

・求める人材像　科学技術への知的好奇心や探究心と社会に貢献したいという志を有し，その基本的概念や基礎知識とそれを活用できる力を身に付けた人材を求めます。

・求 め る 力

専門力	理数系分野に関する基本的概念や基礎知識
教養力	社会に関する基礎的知識と語学力
コミュニケーション力	自らの考えを具体的に表現できる力
展開力	論理的に思考して自らの知識を活用できる力

各学院が求める人材像

【理学院】
理学院学士課程では，幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて，社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。
・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
・教わるだけでなく，自ら主体的に学ぶことができる人
・自分の意見を持ち，他者と議論することができる人
・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】
工学院学士課程では，人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し，さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために，次のような人材を求めます。
・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
・工学を学ぶために，理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
・論理的思考力を有し，他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】
物質理工学院学士課程では，材料科学および応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち，環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで，次のような学生を求めます。
・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し，柔軟な発想ができる人
・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】
情報理工学院学士課程では，よりよい情報化社会を築くために必要となる情報理工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために，次のような資質と能力を持つ人材を求めます。
・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
・数理科学に興味を持ち，コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
・情報理工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】
生命理工学院学士課程では，理工系の基礎知識と生命理工学分野の基礎的専門知識を修得し，生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで，本学院では次のような人材を求めます。
・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け，応用できる力を有している人
・論理的に思考し，集中してものごとに取り組むことができる人
・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
・生命現象を探究し，科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】
環境・社会理工学院学士課程では，人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに，高い知性と豊かな教養，国際的な広い視野と深い思考能力を備え，科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで，本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。
・理数系分野に関する基本的概念や確実な基礎知識を持つ人
・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

東工大教育ポリシー

本学では，以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに，全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー)」,「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー)」,「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー)」を定め，教育ポリシーとして位置づけています。

・教 育 目 標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み，不可能を次々と可能にし，現代社会を築いてきました。

現在も，真理の探究と知の継承及び発展に加えて，持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ，世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。それに応えるべく，本学では，

・確かな専門力
・豊かな教養力
・柔軟なコミュニケーション力
・以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け，「挑戦し続けるフロントランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって，より良い社会を築くことができる人材を養成します。

そのために，世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ，学生が自ら学び考える教育を実施します。

・養成する人材像

確かな専門力，豊かな教養力，柔軟なコミュニケーション力，多様な展開力を身に付け，科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる，「挑戦し続けるフロントランナー」を養成します。

≪学士課程≫　「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」

学士課程では，基盤的な専門力，並びに，幅広い教養，そして，論理的に表現できる力を身に付け，倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって，自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します。

女子枠設置に託した思い

本学は，さまざまな背景や価値観，属性をもった受験生を広く受け入れ，多様性のもつ力を生かして，これまでなかった「もの」や「こと」を生み出し，社会に新しい価値や夢を提供するとともに，さまざまな社会や分野でありたい未来の実現に向けて活躍できる理工系人材を輩出することを目指しています。この目標に向けて，誰もが隔てなく，学び，働ける場を創造し，知的活力にあふれた環境のもと，本学の目的及び使命である文化の進展及び人類の福祉への貢献を目指し，ダイバーシティ&インクルージョン※1を強力に推進することを宣言しています。

日本は今後，高齢社会，地球温暖化，環境問題等による社会の急速な変容や，多くの課題に直面すると予想されます。その時代には科学技術の重要性が，現在よりも一層高まることは明白です。これらの課題を解決し，日本社会，さらには世界が持続的に発展し続けるためには，今まで以上に多様な視点をもった広い分野の専門家がその力を結集すること，すなわち，ダイバーシティ&インクルージョンが必要不可欠です。

本学は，ダイバーシティ&インクルージョンを進める取り組みとして，多様な学生が安心して学生生活を送れるように，地方出身者向け，ファーストジェネレーション※2向け，女子学生向けなどの各種奨学金制度の創設や，日本人学生と外国人学生の混住型寮・女子寮の開設など，環境整備を進めています。

さらに，女子学生の比率が長年にわたり低い状態が続いている現状を打破するために，ダイバーシティ&インクルージョンの新たな取り組みとして入試改革に着手し，令和６年度から総合型選抜及び学校推薦型選抜に女子枠を導入することを決断しました。この選抜では，基本的な学力の評価に加えて，各学院が多様な視点から，受験生の個性を尊重し，その潜在力を発掘することに主眼を置いた選抜を行います。入学後は一定規模の女子学生がいる環境のなかでジェンダー※3等のさまざまな違いを超えて，それぞれが十分に能力を伸ばせる学びの場を提供することで，多様な人材の育成を目指します。この施策は，本学の学生が，性別にかかわらず自分らしく学生生活を送れるようになるまで継続します。

この女子枠の創設により，本学の学修環境を理想的なものに近づけるとともに，より多くの女性科学者・技術者を社会のさまざまな分野に輩出するという使命に応えていきます。これを起点に波紋が広がり，本学だけでなく社会全体に，真に多様性を推進する環境が育つことを期待します。

受験生のみなさん，本学が強みとする世界でも最高峰の教育・研究環境の中で，多様な文化や知性をもつ教員・学生と一緒に自分の可能性をとことん追求しませんか。そして，若い英知を結集して，みなさんの手で，ありたい未来社会を描いてみませんか。

※１：ダイバーシティ&インクルージョン：個々人が持つ外的（性別，人種，年齢等），内的（ライフスタイル，価値観等）な違いにかかわらず，それぞれの個を尊重し，多様性を認め合い，良いところを受け入れて生かすこと
※２：ファーストジェネレーション：家族の中で初めて大学に進学する世代のこと。本学では，大隅良典記念奨学金に親が4年制の大学を卒業していない方を対象とした枠を設けている
※３：ジェンダー：生物的性差に基づき定められた社会的・文化的性差

Ⅰ　募集人員

１　学院，学院を構成する系及び募集人員

学院	系 ※1	募集人員
理学院	数学系 物理学系 化学系 地球惑星科学系	151 人
工学院	機械系 システム制御系 電気電子系 情報通信系 経営工学系	358 人
物質理工学院	材料系 応用化学系	183 人
情報理工学院	数理・計算科学系 情報工学系	92 人※2
生命理工学院	生命理工学系	150 人
環境・社会理工学院	建築学系 土木・環境工学系 融合理工学系	134 人
全学合計		1,068 人※3

※１：「系」欄は２年目以降で所属可能な系を示します。
※２：収容定員の増加を文部科学省に申請中ですので，募集人員が最大132人となる可能性があります。
※３：※２により，全学合計の募集人員が最大 1,108 人となる可能性があります。

２　選抜ごとの募集人員

学院	募集人員※1	一般選抜（前期日程）	総合型選抜		学校推薦型選抜		私費外国人留学生特別入試
			一般枠※2	女子枠※3	一般枠※2	女子枠※3	
理学院	151 人	143 人	―※4	―※4	8 人※4	―※4	若干人
工学院	358 人	314 人	34 人※4	―※4	―	―	10 人
物質理工学院	183 人	138 人	20 人	20 人	―	―	5 人
情報理工学院	92 人※5	72 人※6	6 人	14 人	―	―	若干人
生命理工学院※7	150 人	105 人	15 人	―	15 人	15 人	若干人
環境･社会理工学院※8	134 人	80 人	A 8 人	A 3 人	―	―	25 人※9
			B 6 人	B 3 人	―	―	
			C 6 人	C 3 人	―	―	
合　計	1,068 人	852 人	95 人	43 人	23 人	15 人	40 人

※１：総合型選抜及び学校推薦型選抜の選考の結果，期待する水準に達した者が少なく，合格者数が当該選抜の募集人員に満たない場合は，その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
※２：性別によらずに出願できる入試区分を「一般枠」と称します。
※３：戸籍上の性別が「女性」である者が出願できる入試区分を「女子枠」と称します。女性の総合型選抜への志願者のうち物質理工学院，情報理工学院又は環境・社会理工学院への志願者は，一般枠と女子枠の併願が可能です。また，女性の学校推薦型選抜への志願者のうち生命理工学院への志願者は，一般枠と女子枠の併願が可能です。
※４：理学院及び工学院では，令和７年度入学者選抜において募集人員を変更します。詳細は，「Ⅷ その他　３　令和７年度入学者選抜について」（P.22）を確認してください。
※５：収容定員の増加を文部科学省に申請中ですので，募集人員が最大 132 人となる可能性があります。
※６：※５の増加分は一般選抜（前期日程）で募集し，同選抜の募集人員が最大 112 人となる可能性があります。確定後の内容については，「一般選抜（前期日程）学生募集要項」で必ず確認してください。
※７：総合型選抜と学校推薦型選抜の併願はできません。
※８：環境・社会理工学院の総合型選抜は系単位で募集します。Ａは建築学系，Ｂは土木・環境工学系，Ｃは融合理工学系を表します。
※９：25 人のうち融合理工学系が 20 人です。

Ⅱ　一般選抜（前期日程）

１　出願資格

次の各号のいずれかに該当し，令和６年度大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）のうち，本学が指定する教科・科目を全て受験した者が出願できます。なお，本学における共通テストの成績については，令和６年度共通テストの成績のみを利用し，令和５年度以前の共通テスト及び大学入試センター試験の成績は利用しません。

（１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和６年３月卒業見込みの者
（２）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和６年３月修了見込みの者
（３）学校教育法施行規則第 150 条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の項目のいずれかに該当する者及び令和６年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

①外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程（又は相当する課程）を有するものとして認定（又は指定）した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの者
③専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの者
④文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）
⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和６年３月 31 日までに合格見込みの者で，令和６年３月 31 日までに 18 歳に達する者
⑥本学において，個別の出願資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和６年３月 31 日までに 18 歳に達する者

【注】上記出願資格（３）⑥により出願する者は，個別の出願資格審査を行います。申請時期・申請方法等の詳細については，本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）→「入学案内」→「募集要項」→「出願資格審査実施要項」にて確認してください。

２　出願に際しての注意事項

（１）志願者は，分離分割方式により入学試験を行う国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験公立大学・学部を除く。）のうち，「前期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，「後期日程」で試験を実施する大学・学部から一つ，合計二つの大学・学部に出願することができます。
（２）「前期－後期」の併願は認められますが，「前期－前期」，「後期－後期」の併願は認められません。「前期日程」の試験に合格し，３月 15 日までに入学手続を行った者は，他大学の「後期日程」に出願し受験しても，合格者とはなりません。

３　募集方法

志願者は**第２志望まで**志望学院を登録できます。第２志望を登録した場合は，第１志望で不合格となっても，第２志望で合格することがあります。なお，個別学力検査の得点が同じ場合は，該当する学院の志望順位が高い者を上位とします。

４　実施期日

	実　施　期　日
出 願 期 間	令和６年１月 22 日（月）～２月２日（金）
第１段階選抜合格者発表日	令和６年２月 13 日（火）
個別学力検査実施日	令和６年２月 25 日（日），26 日（月）
合格者発表日	令和６年３月　８日（金）
入 学 手 続 日	令和６年３月 15 日（金）

５　選抜方法

・入学者の選抜は，学力検査（共通テストと本学が実施する個別学力検査）及び調査書によって行います。
・共通テストの成績をもとに２段階選抜を行います。
・**全学院**の志願者計が募集人員計の４倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの５教科７科目の成績（得点合計）により第１段階選抜を行うことがあります。なお，共通テストの成績については，第１段階選抜にのみ使用します。

（１）第１段階選抜

①受験を要する共通テストの教科・科目

志願者は，以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。なお，指定された教科・科目を１つでも受験していない場合は，本学に出願することはできません。

教　科	科　目
国　語	「国語」
地理歴史，公　民※1	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から１科目
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目
外 国 語	「英語（リスニングを含む。）」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目

※１：「地理歴史，公民」において，指定した科目数を超えて受験した場合には第１解答科目の得点を用います。ただし，第１解答科目が本学が指定した科目でない場合には，出願することができません。（この場合の第１解答科目とは，「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において，前半の 60 分間で解答した科目のことをいいます。）

②第１段階選抜に利用する共通テストの各教科配点

教　科	国　語	地理歴史，公　民	数　学	理　科	外国語	合　計
配　点	200	100	200	200	200※1	900

※１：外国語科目として「英語」を選択した場合，200 点の内訳は「リーディング」100 点，「リスニング」100 点とします。なお，「英語」を選択し，「リスニング」を免除された者は，「リーディング」の配点 100 点を 200 点に換算した得点とします。

（２）第２段階選抜

第１段階選抜に合格した者に対して，個別学力検査を実施します。

①試験日程

試験日	令和６年２月25日（日）		令和６年２月26日（月）	
科目及び試験時間	数　学 9:30～12:30 （180分）	英　語 14:00～15:30 （90分）	物　理 9:30～11:30 （120分）	化　学 13:00～15:00 （120分）

②試験内容

科　目	科　目　内　容	選択方法
数　学	「数学Ⅰ」，「数学Ａ」，「数学Ⅱ」，「数学Ｂ（数列，ベクトル）」，「数学Ⅲ」を，その総合問題や応用問題を含めて，『数学』として出題する。	必　須
物　理	「物理基礎」，「物理」を合わせて『物理』として出題する。	必　須
化　学	「化学基礎」，「化学」を合わせて『化学』として出題する。	必　須
英　語	「コミュニケーション英語Ⅰ」，「コミュニケーション英語Ⅱ」，「コミュニケーション英語Ⅲ」を合わせて『英語』として出題する。	必　須

③個別学力検査の配点

科　目	数　学	物　理	化　学	英　語	合　計
配　点	300	150	150	150	750

④試験場

個別学力検査は，本学大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山 2-12-1）及び田町キャンパス（東京都港区芝浦 3-3-6）で行います。なお，都合により，試験場を変更する場合があります。

Ⅲ　総合型選抜

１　総合型選抜で求める学生像

（１）工学院

機械系，システム制御系，電気電子系，情報通信系，経営工学系の学問分野に強い興味を抱き，人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志と理系科目を中心に十分な基礎学力を有する者。とりわけ総合型選抜では，柔軟な発想力と，その発想を他者と共有するための説明力および他者の発想を理解できる能力に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

（２）物質理工学院

化学と物理を基盤として，自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し，柔軟な発想ができる者，また，物質分野，すなわち材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲があり，環境調和型社会の発展に貢献しようという強い志をもつ者。とりわけ総合型選抜では，これらの資質や能力に秀で，自分の考えをしっかりと他者に説明できる人を求めます。

（３）情報理工学院

次のような資質と能力を持つ人を求めます。数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人，数理科学に強い興味を持つ人，コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人，情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人。とりわけ総合型選抜ではこれらの資質や能力のいずれかに秀で，自発的に活動できる人を強く求めます。

（４）生命理工学院

生命現象を徹底的に探求したいという旺盛な知識欲を持つ者，また，得られた知識を応用して新しい創造的世界を開拓したいという意欲にあふれる者など，チャレンジングな理工系精神を持って生命理工学を学びたい者。とりわけ総合型選抜では，生物学に秀でた素質が認められる者を求めます。

（５）環境・社会理工学院

人類と社会の持続的発展に環境と生活・産業基盤の観点から貢献しようという高い志を有し，理系科目を中心に確実な基礎学力を備えた者。とりわけ総合型選抜では，環境や社会にかかわる多様で複雑な問題の解決に対する柔軟な発想力と，その発想を他者と共有するための表現力の２点に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

２　出願資格

次のいずれかに該当する者とします。ただし，女子枠への出願についてはこれに加え，戸籍上の性別が「女性」であることを出願資格とします。

（１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和６年３月卒業見込みの者

（２）通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和６年３月修了見込みの者

（３）学校教育法施行規則第 150 条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者のうち次の項目のいずれかに該当する者及び令和６年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

①外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程（又は相当する課程）を有するものとして認定（又は指定）した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの者

③専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者及び令和６年３月 31 日までに修了見込みの者

④文部科学大臣の指定した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号）

⑤高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和６年３月 31 日までに合格見込みの者で，令和６年３月 31 日までに 18 歳に達する者

⑥本学において，個別の出願資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和６年３月 31 日までに 18 歳に達する者

【注】上記出願資格（３）⑥により出願する者は，個別の出願資格審査を行います。申請時期・申請方法等の詳細については，本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）→「入学案内」→「募集要項」→「出願資格審査実施要項」にて確認してください。

３　募集方法

（１）全ての志願者は，希望する 1 つの学院のみに出願可能です。なお，環境・社会理工学院の志願者は，希望する系を選択のうえ，出願してください。

（２）女性の志願者のうち物質理工学院，情報理工学院又は環境・社会理工学院への志願者は，一般枠と女子枠の併願が可能です。

（３）合格した場合には，入学することを確約してください。

４　実施期日

	実　施　期　日
出 願 期 間	令和５年 12 月 18 日（月）　～ 12 月 20 日（水）
第１段階選抜合格者発表日	令和６年２月　５日（月）
第２段階選抜個別学力検査実施日	令和６年２月 11 日（日）
合 格 者 発 表 日	令和６年２月 13 日（火）
入 学 手 続 日	令和６年２月 19 日（月）

５　選抜方法

・入学者の選抜は，学力検査（共通テストと本学が実施する個別学力検査），志望理由書，調査書及び各学院が指定する提出書類によって行います。

・選抜は，第１段階選抜と第２段階選抜により行います。

・一般枠と女子枠を併願する場合，各枠で判定した結果，両方合格であれば女子枠としての合格とします。

（１）第１段階選抜

①各学院の第１段階選抜

<table>
<tr><th>学院</th><th colspan="2">一般枠</th><th>女子枠</th></tr>
<tr><td>工学院</td><td colspan="2">志願者数が学院の募集人員の約２～３倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの成績（得点合計）により第１段階選抜を行う。</td><td></td></tr>
<tr><td>物質理工学院</td><td colspan="2">志願者数が学院の一般枠の募集人員の約 1.5 倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの成績（得点合計）により第１段階選抜を行う。</td><td>志願者数が学院の女子枠の募集人員の約 1.5 倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの成績（得点合計）により第１段階選抜を行う。</td></tr>
<tr><td>情報理工学院</td><td colspan="2">本学が指定する共通テストの成績（得点合計）と出願書類を用いて第１段階選抜を行う。第１段階選抜の判定では活動実績報告書の内容を重視する。共通テストの成績は基礎学力の判定のためのみに用い，概ね 720 点以上かどうかを基準とする。募集人員の約２倍を第１段階選抜合格者の上限とする。</td><td>本学が指定する共通テストの成績（得点合計）と出願書類を用いて第１段階選抜を行う。第１段階選抜の判定では活動実績報告書の内容を重視する。共通テストの成績は基礎学力の判定のためのみに用い，概ね 720 点以上かどうかを基準とする。募集人員の約 1.5 倍を第１段階選抜合格者の上限とする。</td></tr>
<tr><td>生命理工学院</td><td colspan="2">志願者数が学院の一般枠の募集人員の約２倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの成績（得点合計）と出願書類を用いて第１段階選抜を行う。</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">環境・社会理工学院</td><td>A</td><td rowspan="2">共通テストの成績（得点合計）に基づき第１段階選抜を行い，募集人員の約２倍を第１段階選抜合格者の上限とする。</td><td rowspan="3">本学が指定する共通テストの成績（得点合計）と出願書類に基づき第１段階選抜を行い，Ａ，Ｂ，Ｃいずれも募集人員の約２倍を第１段階選抜合格者の上限とする。</td></tr>
<tr><td>B</td></tr>
<tr><td>C</td><td>共通テストの成績（得点合計）と出願書類に基づき第１段階選抜を行い，募集人員の約２倍を第１段階選抜合格者の上限とする。</td></tr>
</table>

②受験を要する共通テストの教科・科目

志願者は，以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。なお，指定された教科・科目を１つでも受験しない場合は，本学を受験することはできません。

教　　科	科　　目
国　語	「国語」
地理歴史，公　民※1	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から１科目
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目
外 国 語	「英語（リスニングを含む。）」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目

※１：「地理歴史，公民」において，指定した科目数を超えて受験した場合には第１解答科目の得点を用います。ただし，第１解答科目が本学が指定した科目でない場合には，出願することができません。（この場合の第１解答科目とは，「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において，前半の 60 分間で解答した科目のことをいいます。）

③第１段階選抜に利用する共通テストの各教科配点

	一般枠						女子枠					
	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計
工学院	200	100	200	200	200※1	900						
物質理工学院	200	100	200	200	200※1	900	200	100	200	300※2	300※3	1100
情報理工学院	200	100	200	200	200※1	900	一般枠と同じ					
生命理工学院	200	100	200	200	200※1	900						
環境･社会理工学院	200	100	200	200	200※1	900	一般枠と同じ					

※１：外国語科目として「英語」を選択した場合，200 点の内訳は「リーディング」100 点，「リスニング」100 点とします。なお，「英語」を選択し，「リスニング」を免除された者は，「リーディング」の配点 100 点を 200 点に換算した得点とします。

※２：理科科目 300 点の内訳は選択した２科目のそれぞれを 150 点とします。

※３：外国語科目として「英語」を選択した場合，300 点の内訳は「リーディング」150 点，「リスニング」150 点とします。なお，「英語」を選択し，「リスニング」を免除された者は，「リーディング」の配点 150 点を 300 点に換算した得点とします。

（２）第２段階選抜

第１段階選抜に合格した者に対して，個別学力検査（総合問題）と，共通テストの得点（物質理工学院（一般枠・女子枠），生命理工学院（一般枠））及び調査書等の提出書類を総合的に評価し，合格者を決定します。

①第２段階選抜に利用する総合問題及び共通テストの配点

	一般枠			女子枠		
学　院	総合問題	共通テスト	合 計	総合問題	共通テスト	合 計
工学院	100	利用しない	100			
物質理工学院	90	90	180	110	110	220
情報理工学院	100	利用しない	100	100	利用しない	100
生命理工学院	100	50	150			
環境･社会理工学院	100	利用しない	100	100	利用しない	100

②第２段階選抜に利用する共通テストの各教科換算

	一般枠						女子枠					
	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計
物質理工学院	20	10	20	20	20	90	20	10	20	30	30	110
生命理工学院	0	0	20	20	10	50						

③第２段階選抜の試験内容

【一般枠】

学院	総合問題	内　　容
工学院	筆 記	数学や物理に関連した工学の基礎となる課題の設問により，論理的な思考力，解決力及び記述力を評価する。
	面 接	工学分野に対する志望動機，与えられた物理や数学のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。
物質理工学院	筆 記	実施しない
	面 接	科学的な知識及び考え方について試問し，考察力，表現力とともに物質についての科学技術を学ぶうえでの適性を評価する。
情報理工学院	筆 記	実施しない
	面 接	志願者の活動実績報告書※2に関する発表や質疑応答等に基づき，情報に対する適性・素養・説明能力を評価する。
生命理工学院	筆 記	生物に関する設問により，基礎学力，論理的な思考力及び記述力を評価する。
	面 接	生命理工学分野に対する志望動機，学習意欲，論理的な思考力及び適性を評価する。

環境・社会理工学院※1	A	造形課題	「数学Ⅲ」程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形，スケッチ及び説明文を解答させ，建築・都市空間のデザイン及び表現能力を評価する。
	B	面 接 (筆記を含む)	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して問題の所在を整理し，解決できる素養並びにその表現の能力を評価する。
	C	面 接	グローバル化する世界の環境及び社会的な課題に関する設問に対して，解答者独自の見解を論理的にまとめ，それを説明し，審査員と質疑応答する面接を行う。これによって論理的な思考力，表現力，対話によって思考を深める力を評価する。

※１:環境・社会理工学院では，学士課程２年目の系所属の際にＡを受験し合格した者は建築学系に，Ｂを受験し合格した者は土木・環境工学系に，Ｃを受験し合格した者は融合理工学系に，それぞれ所属します。

※２：情報理工学院の必要書類です。志願者の活動や研究を志願者本人が記載します。

【女子枠】

学院	総合問題		内　　容
工学院			
物質理工学院	筆 記		実施しない
	面 接		科学的な知識及び考え方について試問し，考察力，表現力とともに物質についての科学技術を学ぶうえでの適性を評価する。また，女性が活躍できる環境調和型社会に貢献するために本学物質理工学院で学びたいこと，及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価する。
情報理工学院	筆 記		実施しない
	面 接		志願者の活動実績報告書※2に関する発表や質疑応答等に基づき，情報に対する適性・素養・説明能力を評価する。また，ダイバーシティ社会で躍進するために本学情報理工学院で学びたいこと，及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価する。
生命理工学院			
環境・社会理工学院※1	A	造形課題	「数学Ⅲ」程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形，スケッチ及び説明文を解答させ，建築・都市空間の創造力を評価する。また，活動実績報告書※2の記載内容について評価する。
	B	面 接 (筆記を含む)	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して問題の所在を整理し，解決できる素養並びにその表現の能力を評価する。また，活動実績報告書※2の記載内容について評価する。
	C	面 接	グローバル化する世界の環境及び社会的な課題に関する設問に対して，解答者独自の見解を論理的にまとめ，それを説明し，審査員と質疑応答する面接を行う。これによって論理的な思考力，表現力，対話によって思考を深める力を評価する。また，活動実績報告書※2の記載内容について評価する。

※１：環境・社会理工学院では，学士課程２年目の系所属の際にＡを受験し合格した者は建築学系に，Ｂを受験し合格した者は土木・環境工学系に，Ｃを受験し合格した者は融合理工学系に，それぞれ所属します。

※２：情報理工学院及び環境・社会理工学院の必要書類です。情報理工学院では，志願者の活動や研究を志願者本人が記載します。環境・社会理工学院では，これまで授業や課外で取り組んだ活動及びそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち，環境や社会との関わりでアピールできるものを記載します。

④調査書の評価項目

調査書は，大学入学者選抜における学力の３要素の内，「主体性を持って多様な人々と共同して学ぶ態度」を評価するための資料として活用し，評価項目は下記項目のとおりとします。

評価項目	調査書における記載該当欄
１.学習の姿勢等	７.指導上参考となる諸事項 （１）学習における特徴等 （２）行動の特徴，特技等
２.課外活動実績	７.指導上参考となる諸事項 （３）部活動，ボランティア活動，留学・海外経験等
３.特別活動実績	６.特別活動の記録
４.受賞歴や資格取得等	７.指導上参考となる諸事項 （４）取得資格，検定等 （５）表彰・顕彰等の記録
５.上記以外の活動実績	５.総合的な学習の時間の内容・評価 ７.指導上参考となる諸事項 （６）その他 ８.備考

調査書等の評価は，各学院とも，第２段階選抜の個別学力検査（総合問題）の内に含めるものとします。なお，調査書の活用については，志願者の高等学校等における日常的な学習や一般的な課外活動等を評価するものであり，高等学校等や受験者に対して特別な活躍や資格を提示すること，新たな取組を強いるものではありません。また，各項目の評価は文章の表現や量に左右されるものではありません。

注１.活動実績報告書を提出する場合，上表で示した調査書の評価項目が，別途提出を求めている活動実績報告書と重複しても差し支えありません。

注２.新型コロナウイルスの感染症拡大による緊急事態宣言が発令されたことに伴い，休校による出席日数や特別活動の記録，指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって，志願者が不利益を被ることのないよう考慮します。

Ⅳ　学校推薦型選抜

１　学校推薦型選抜で求める学生像

（１）理学院

幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて，社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。このために次のような学生を求めています。

①自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
②教わるだけでなく，自ら主体的に学ぶことができる人
③自分の意見を持ち，他者と議論することができる人
④十分な学力と表現力を持つ人

（２）生命理工学院

生命現象の仕組みを読み解き，工学応用する道を切り拓くことにより，人類共通の知的基盤形成に貢献するとともに，その成果を高い倫理観をもって社会に還元する人材を養成します。

このために次のような学生を求めています。

①生命現象の仕組みを読み解く観察力と好奇心にあふれている人
②生命現象をバイオテクノロジーに発展させる挑戦力のある人
③固定観念にとらわれず，常に新たな視点で考えられる人
④コミュニケーション能力に優れた豊かな表現力のある人

２　出願資格

次の各号のいずれかに該当し，また，学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合には必ず入学することを確約できる者とします。ただし，女子枠（生命理工学院のみ）への推薦についてはこれらに加え，戸籍上の性別が「女性」であることを出願資格とします。

（１）高等学校又は中等教育学校を令和６年３月卒業見込みの者
（２）通常の課程による 12 年の学校教育を令和６年３月修了見込みの者

３　募集方法

（１）全ての志願者は，希望する１つの学院のみに出願可能です。
（２）女性の志願者のうち生命理工学院への志願者は，一般枠と女子枠の併願が可能です。
（３）合格した場合には，入学することを確約してください。

４　実施期日

	実　施　期　日
出 願 期 間	令和５年 12 月 18 日（月）　～ 12 月 20 日（水）
合格者発表日	令和６年２月 13 日（火）
入 学 手 続 日	令和６年２月 19 日（月）

５　推薦要件等

（１）推薦人員

・学校長が同一の生徒を推薦できるのは，１つの学院に限ります。
・理学院に学校長が推薦できる人数は２人までですが，（２）推薦要件　理学院③により推薦する場合はその人数に含みません。
・生命理工学院に学校長が推薦できる人数は２人までです。

（２）推薦要件

学院	推　　薦　　要　　件
理学院	理学における高い能力を示す以下の①，②，③のいずれかに該当し，学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ①正規の授業科目の一環として実施した課題研究（理学及びそれに関連した内容に限る）で主導的な役割を果たし，優れた成果を挙げてそれをとりまとめて発表した者 ・課題研究の例１．SSH の課題研究で○○○に関する研究を行い，全国又は地域の研究交流会等で発表。 ・課題研究の例２．卒業研究として○○○に関する研究を行い，校内で発表。 ・課題研究の例３．総合学習で行った研究成果を大学主催や地区の研究交流会等で発表。 ②課外活動において理学に関連した研究を行って優れた成果を挙げ（主導的な役割を果たしたことが必要），それをとりまとめて校外の参加者を含む学校内外で発表したことを客観的に示す資料を提出できる者 ・課外活動の例１．○○部のクラブ活動で２年間継続して研究を実施し，校外の参加者も含む学校内外で開催の研究会，研究交流会等で発表。 ・課外活動の例２．夏休みに 10 日間継続して△△で野外調査を実施し，校外の参加者も含む学校内外での研究会，研究交流会等で発表。 ③数学，物理，化学，地学のいずれかの国際科学オリンピックに日本代表として出場した者，又は国際科学オリンピックの国内予選に相当する地区大会等で優秀な成績を収めた者 上記の①及び②における「優れた成果」とは，学校内で現在及び過去の生徒との比較において優れていると学校長が認定できるものを指します。
生命理工学院	以下の①，②，③の全てに該当し，学校長が責任をもって推薦でき，合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ①生命理工学院に対する明確な志望理由と学修の熱意を有し，学習成績・人物ともに特に優れる者 ②高等学校等での正規授業科目として「数学 Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学Ａ」,「数学Ｂ」の全てを履修している者 ③高等学校等での正規授業科目として「生物」,「物理」,「化学」のうち２科目以上を履修している者

６　選抜方法

・入学者の選抜は，共通テストの成績，推薦書，調査書及び各学院が指定する提出書類によって行います。

・一般枠と女子枠を併願する場合，各枠で判定した結果，両方合格であれば女子枠としての合格とします（生命理工学院のみ）。

（１）各学院の選抜方法

学院	一般枠	女子枠
理学院	個別学力検査を免除し，共通テストの成績，推薦書，研究内容の要約並びに，調査書の内容のうち学業成績及び推薦理由に関する部分を総合的に評価し，合格者を決定します。	
生命理工学院	個別学力検査を免除し，共通テストの成績，推薦書，調査書及び志望理由書の内容を総合的に評価し，合格者を決定します。	個別学力検査を免除し，共通テストの成績，推薦書，調査書, 志望理由書及び学修計画書の内容を総合的に評価し，合格者を決定します。

（２）受験を要する共通テストの教科・科目

志願者は，以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。なお，指定された教科・科目を１つでも受験しない場合は，合格の対象とはなりません。

教　　科	科　　目
国　語	「国語」
地理歴史，公　民※1	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から１科目
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目
外 国 語	「英語（リスニングを含む。）」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目

※１：「地理歴史，公民」において，指定した科目数を超えて受験した場合には第１解答科目の得点を用います。ただし，第１解答科目が本学が指定した科目でない場合には，出願することができません。（この場合の第１解答科目とは，「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において，前半の 60 分間で解答した科目のことをいいます。）

（３）共通テストの各教科配点

	一般枠						女子枠					
	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計
理学院	200	100	200	200	200※1	900						
生命理工学院	200	100	200	200	200※1	900	200	100	200	200	200※1	900

※１：外国語科目として「英語」を選択した場合，200 点の内訳は「リーディング」100 点，「リスニング」100 点とします。なお，「英語」を選択し，「リスニング」を免除された者は，「リーディング」の配点 100 点を 200 点に換算した得点とします。

Ⅴ　私費外国人留学生特別入試

<table>
<tr><td>実施学院・系名</td><td colspan="2">下記のとおり</td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="2">次の（１），（２）及び（３）の全てを満たしている者

（１）日本国籍を有しない者※1

（２）在留資格「留学」の者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者で，次の各号のいずれかに該当する者
①外国において，学校教育（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を除く。）における 12 年の課程を修了した者及び令和６年３月までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者※2
②スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者，ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者，フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者及び「グレートブリテン及び北部アイルランド連合王国」において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）を有する者
③アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるWASC，同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるACSI又はグレートブリテン及び北部アイルランド連合共和国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるCISから教育活動等に係る認定を受けた外国に所在する教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び令和６年３月31日までに修了見込みの者

（３）独立行政法人日本学生支援機構主催，2023年度日本留学試験の日本語（記述，読解，聴解・聴読解）及び理系３科目（物理，化学，数学コース２：日本語又は英語での受験可）を受験し，日本語の成績が290点以上，理系３科目の成績が310点以上であること（成績結果は，令和５年６月又は11月の試験のいずれか一方しか利用できない。）

※１：日本の高等学校又は中等教育学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）及び日本国永住許可を得ている者は，本入試に出願することはできない。
※２：「これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」とは，昭和56年文部省告示第153号に指定された者</td></tr>
<tr><td>選抜方法等</td><td colspan="2">共通テストを免除し，日本留学試験の成績並びに本学が行う学力検査及び面接の成績を総合して行う。なお，志願者が募集人員の約３～４倍を超えた場合には，本学が指定する日本留学試験の日本語及び理系３科目の成績（合計得点）により第１段階選抜を行うことがある。第１段階選抜に合格した者に対して，第２段階選抜として，学力検査（数学，物理，化学，英語，日本語）及び面接試験を行い最終合格者を決定する。ただし，第２段階選抜は学力検査を第１次選考とし，その合格者に対し第２次選考の面接試験を行う。</td></tr>
<tr><td>出願期間</td><td colspan="2">令和５年12月25日（月）～ 12月27日（水）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">選抜期日</td><td>第１段階選抜 合格者発表日</td><td>令和６年１月12日（金）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">第２段階選抜 実施日</td><td>第１次選考（学力検査）令和６年１月17日（水）</td></tr>
<tr><td>第２次選考（面　　接）　令和６年２月15日（木）</td></tr>
<tr><td>合格者発表日</td><td colspan="2">令和６年３月８日（金）</td></tr>
<tr><td>入学手続日</td><td colspan="2">令和６年３月22日（金）</td></tr>
</table>

Ⅵ　国費外国人留学生優先配置入試

プログラム名	融合理工学系国際人材育成プログラム（GSEP）
実施学院・系名	環境・社会理工学院　融合理工学系
募集人員	国費外国人留学生８人，私費外国人留学生 10 人
出願資格	（A）国費外国人留学生を希望する場合 対　　象：新たに海外から留学する者 国　　籍：日本政府と国交のある国の国籍を有すること。 年　　齢：原則として，平成 11 年４月２日以降に出生した者 学　　歴：外国において，学校教育における 12 年の課程を修了した者又は日本の高等学校に対応する学校の課程を修了した者（渡日前までに満たす見込みの確実な者を含む。又は，上記以外の資格により日本の大学入学資格を有する者を含む。） 渡日時期：原則として令和６年４月１日から４月７日までの間に渡日可能な者 査証取得：原則として渡日前に「留学」の査証を必ず取得し，「留学」の在留資格で入国すること。 そ の 他：次に掲げる者については，国費外国人留学生の対象外とする。採用以降に判明した場合には辞退すること。 ①渡日時及び奨学金支給期間において，現役軍人又は軍属の資格の者 ②本学の指定する期日までに渡日できない者 ③過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者（渡日後辞退者含む。） ④日本政府(文部科学省)奨学金制度による他の奨学金支給開始のプログラムとの重複申請している者 ⑤申請時に既に在留資格「留学」で日本の大学等に在籍している者及び申請時から奨学金支給期間開始前に私費外国人留学生として日本の大学等に在籍，又は在籍予定の者。ただし，現在，日本の大学等に在籍又は在籍予定の私費外国人留学生であっても，奨学金支給期間開始前に修了し帰国することが申請時において確実で，新たに在留資格「留学」を取得し渡日する者はこの限りではない。 ⑥奨学金支給開始後に日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関を含む。）から奨学金を受給することを予定している者 ⑦「卒業見込みの者 」であって，所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者 ⑧申請時から日本以外での研究活動（インターンシップ，フィールドワーク等）や休学等を長期間予定している者 （B）私費外国人留学生を専願する場合 対　　象：海外在住，日本在住を問わない 国　　籍：日本国籍を有しない者※1 年　　齢：原則として，令和６年３月 31 日までに 18 歳に達する者 学　　歴：外国において，学校教育（文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設を除く。）における 12 年の課程を修了した者及び令和６年３月までに修了見込みの者若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者※2又は文部科学大臣の指定した者のうち本学が指定する者※3 渡日時期：原則として３月中に渡日可能な者 査証取得：在留資格「留学」の者又は入学時に「留学」を取得出来る見込みの者 そ の 他：次に掲げる者については，合格等を取り消すことがある。 「卒業見込みの者」であって，所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者 ※１：日本の高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）及び日本国永住許可を得ている者は，本入試に出願することはできない。 ※２：「これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」とは，昭和 56 年文部省告示第 153 号に指定された者 ※３：「文部科学大臣の指定した者のうち本学が指定する者」とは，昭和 23 年文部省告示第 47 号において第 20 号から第 24 号により，文部科学大臣が指定した者
選抜方法等	第１次選考を書類審査により行い，第１次選考の合格者に対し，第２次選考を面接及び筆記試験（高校の数学・物理・化学の範囲から出題する）で行い，最終合格者を決定する。
出願期間	令和５年８月 16 日（水）～　８月 25 日（金）
選抜期日	第１次選考（書類選考）結果通知　令和５年９月 20 日（水）
	第２次選考（面接及び筆記試験）　令和５年 10 月２日（月）～10 月 27 日（金）
合格者発表日	令和５年 11 月 16 日（木）
入学手続日	令和６年３月 22 日（金）
その他	１．合格者のうち８人を，本学より国費外国人留学生として文部科学省に推薦し，それ以外の合格者を私費外国人留学生として受け入れる。 ２．本入試に合格した者は，本学の他の入試に出願することはできない。 （入学辞退届を提出し，受理された者を除く。） ３．出願資格審査申請期間は７月５日（水）～８月 18 日（金）とする。

Ⅶ　障害等のある入学志願者の事前相談

本学では，障害等（下表参照）のある者が，受験上及び修学上不利になることがないよう，合理的な配慮を行っており，そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については，内容によって対応に時間を要することもありますので，電子メール（巻末参照）により，必ず事前に学務部入試課まで相談の上，申請書類を請求してください。原則として次の期日までに申請書類を提出してください。

①「点字回答」又は「代筆回答」を希望する場合
令和５年11月24日（金）

②上記①以外の配慮を希望する場合
令和５年12月15日（金）

なお，申請書類提出期限後の申請については，引き続き配慮検討の対象となりますが，事前の配慮準備の関係で，申請が遅くなるほど，実際に提供できる受験上の配慮が限定されていきますので，なるべく早めに申請書類を提出してください。申請のあったものについて，本学でその内容を審査の上，それぞれの障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定し，通知します。また，必要な場合は，本学において志願者又は出身学校関係者等との面談を行うこともあります。

区　分	対象となる者
視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が 0.15 以下の者 ・両眼による視野について強度視野障害のある者 ・上記以外の視覚障害者
聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚障害者
肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由者
病弱	・呼吸器，心臓，腎臓，消化器等の慢性疾患のため，医療や生活規制を継続して必要とする状態にある者又はこれに準ずる者
発達障害	・自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害，学習障害，注意欠陥多動性障害等のため配慮を必要とする者
その他	・上記の区分以外の者で受験上の配慮を必要とする者

Ⅷ　その他

１　入試情報の提供

入学試験に係る統計データは，令和６年４月以降に本学「高校生・受験生向けサイト」にて公表します。

２　学士課程２年目における系ごとの受入可能人数

２年目に所属する系は，系の受入可能人数を勘案し，学生の志望及び１年目の学業成績により決定します。

学　　院	系	受入可能人数
理学院	数学系	29 人
	物理学系	61 人
	化学系	44 人
	地球惑星科学系	32 人
工学院	機械系	144 人
	システム制御系	48 人
	電気電子系	90 人
	情報通信系	49 人
	経営工学系	62 人
物質理工学院	材料系	92 人
	応用化学系	109 人
情報理工学院	数理・計算科学系	37 人※1
	情報工学系	64 人※1
生命理工学院	生命理工学系	164 人
環境・社会理工学院※2	建築学系	62 人
	土木・環境工学系	40 人
	融合理工学系※3	45 人

※１：収容定員の増加を文部科学省に申請中ですので，受入可能人数が変更となる可能性があります。
※２：環境・社会理工学院の総合型選抜は，系単位で募集しており，当該選抜の合格者は，受験した系に所属することになります。
※３：融合理工学系においては，45 人から私費外国人留学生特別入試により受け入れた外国人留学生を減じた人数を受入可能予定人数とします。

３　令和７年度入学者選抜について

理学院の学校推薦型選抜（R6 募集人員：一般枠８人）は，今年度（令和６年度入試）の実施を最後とし，来年度（令和７年度入試）から新たに総合型選抜（R7 募集人員：一般枠８人，女子枠 15 人）を実施します。また，工学院の総合型選抜（R6 募集人員：一般枠 34 人）では，従来の総合型選抜を廃止し，令和７年度から新たな総合型選抜（R7 募集人員：一般枠 17 人，女子枠 70 人）として実施します。詳細については，「高校生・受験生向けサイト」の「新着入試情報」に掲載していますので，そちらを確認してください。

〔2025 年度入試から理学院・工学院の総合型選抜・学校推薦型選抜について〕
https://admissions.titech.ac.jp/0/examination/news/2023/066486

〔令和７年度選抜ごとの募集人員〕

学院	募集人員※1	一般選抜（前期日程）	総合型選抜		学校推薦型選抜		私費外国人留学生特別入試
			一般枠※2	女子枠※3	一般枠※2	女子枠※3	
理学院	151 人	128 人	8 人	15 人	－	－	若干人
工学院	358 人	261 人	17 人	70 人	－	－	10 人
物質理工学院	183 人	138 人	20 人	20 人	－	－	5 人
情報理工学院	92 人※4	72 人※5	6 人	14 人	－	－	若干人
生命理工学院※6	150 人	105 人	15 人	－	15 人	15 人	若干人
環境･社会理工学院※7	134 人	80 人	A 8 人	A 3 人	－	－	25 人※8
			B 6 人	B 3 人	－	－	
			C 6 人	C 3 人	－	－	
合　計	1,068 人	784 人	86 人	128 人	15 人	15 人	40 人

※１：総合型選抜及び学校推薦型選抜の選考の結果，期待する水準に達した者が少なく，合格者数が当該選抜の募集人員に満たない場合は，その欠員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
※２：性別によらずに出願できる入試区分を「一般枠」と称します。
※３：戸籍上の性別が「女性」である者が出願できる入試区分を「女子枠」と称します。女性の総合型選抜への志願者のうち物質理工学院，情報理工学院又は環境・社会理工学院への志願者は，一般枠と女子枠の併願が可能です。また，女性志願者のうち生命理工学院の学校推薦型選抜への志願者は，一般枠と女子枠の併願が可能です。
※４：収容定員の増加を文部科学省に申請中ですので，募集人員が最大 132 人となる可能性があります。
※５：※４の増加分は一般選抜（前期日程）で募集し，同選抜の募集人員が最大 112 人となる可能性があります。確定後の内容については，「一般選抜（前期日程）学生募集要項」で必ず確認してください。
※６：総合型選抜と学校推薦型選抜との併願はできません。
※７：環境・社会理工学院の総合型選抜は系単位で募集します。Ａは建築学系，Ｂは土木・環境工学系，Ｃは融合理工学系を表します。
※８：25 人のうち融合理工学系が 20 人です。

Ⅸ　募集要項・入学案内の請求方法

１　募集要項について

下記の時期に本学「高校生・受験生向けサイト」等で公表しますので，出願方法などを確認してください。なお，私費外国人留学生選抜学生募集要項を除いて紙媒体による募集要項の発行は行いません。

○ 国費外国人留学生優先配置入試学生募集要項 ・・・・７月上旬
○ 総合型選抜学生募集要項 ・・・・・・・・・・・・・・・７月上旬
○ 学校推薦型選抜学生募集要項 ・・・・・・・・・・・・・７月上旬
○ 私費外国人留学生選抜学生募集要項 ・・・・・・・・・10 月中旬
○ 一般選抜（前期日程）学生募集要項 ・・・・・・・・・10 月下旬

２　入学案内の請求について

（１）本学「高校生・受験生向けサイト」の「募集要項（願書）の請求方法」ページのリンクより，株式会社フロムページの「テレメール」にアクセスし資料請求（有料）ができます。

（２）大学に直接訪問して受領する場合，以下にて受け取り可能です。

①大岡山キャンパス西８号館Ｅ棟２階 入試課　9:00～17:00　（平日のみ）
②大岡山キャンパス守衛所（正門入りすぐ左）　7:00～22:00　（平日，土日祝可）
③すずかけ台キャンパスＪ１棟１階 教務課　9:00～17:00　（平日のみ）

※問い合わせは志願者本人が行うこと

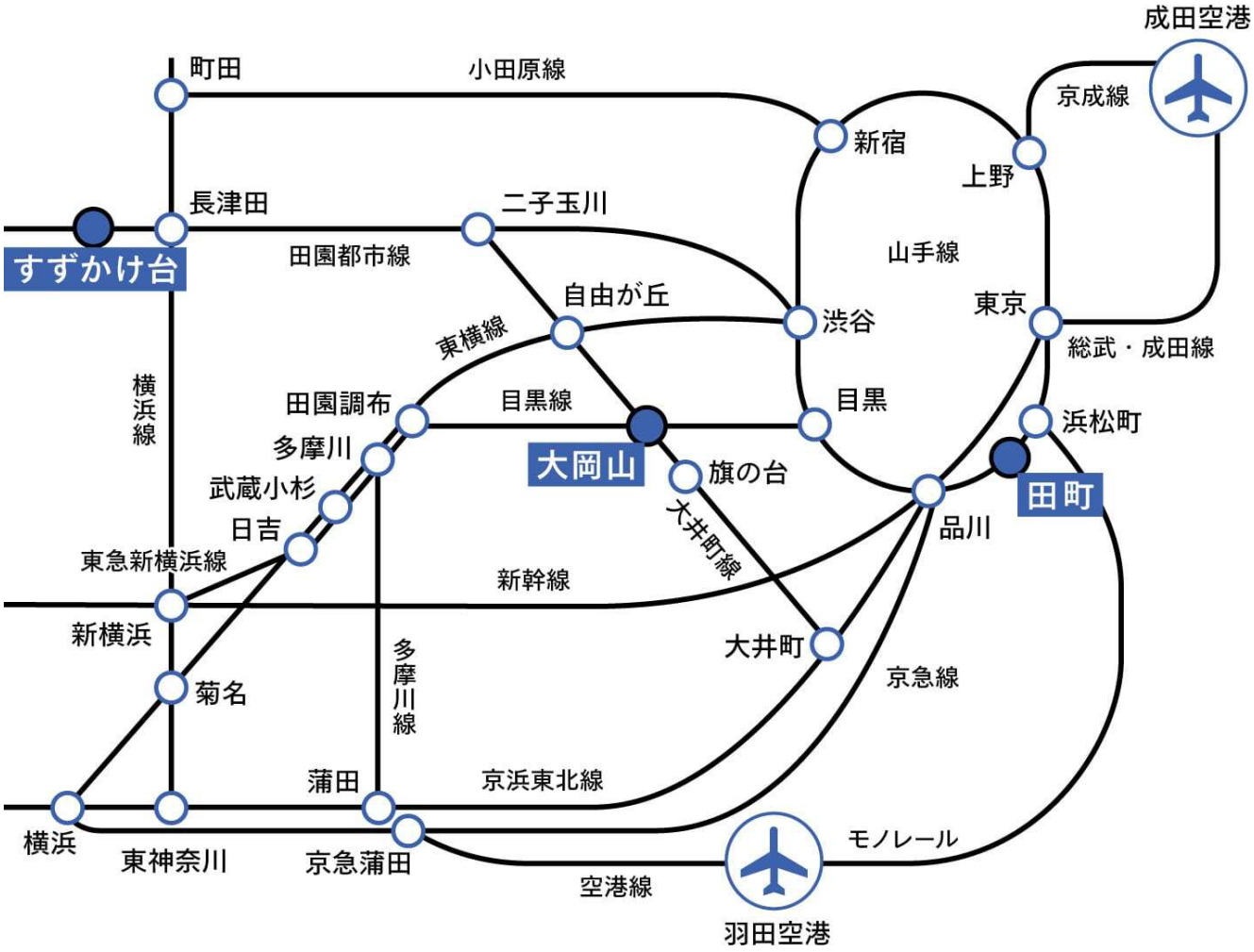
東京工業大学　学務部入試課

〒152-8550　東京都目黒区大岡山 2-12-１-W8-103
TEL (03)5734-3990（平日 9:00～17:15（12:15～13:15 を除く））

※入試に関する最新情報等

東京工業大学ウェブサイト　https://www.titech.ac.jp/

「高校生・受験生向けサイト」　https://admissions.titech.ac.jp/

MAP

- 大岡山キャンパス　東急大井町線・目黒線（大岡山駅下車徒歩１分）
- すずかけ台キャンパス　東急田園都市線（すずかけ台駅下車徒歩５分）
- 田町キャンパス　JR山手線・京浜東北線（田町駅下車徒歩２分）